



～お葬儀屋さんのひとりごと～

ご遺骨から作る美しい人工宝石！～変化する供養の形～

遺骨で作る人工宝石とは、遺骨を加工してダイヤモンドなどの宝石を生成したものです。最近、ライフスタイルや死生観の変化などに伴い、お墓に遺骨を納骨するという供養だけにとられず、遺骨をそばに置く手元供養を希望される方も多くなりました。

このような背景事情により、遺骨で作る人工宝石はいつでも身近に故人を感じることが出来る手元供養品として人気があります。

■ 遺骨から作るダイヤモンド

遺骨から作る人工宝石の代表的なものが、いわゆるメモリアル・ダイヤモンドと呼ばれる遺骨ダイヤモンドです。2000年代初め頃から、スイスやアメリカなどの会社がサービスを開始しました。

遺骨ダイヤモンドは、遺骨や遺灰から不純物を取り除いた高純度の炭素成分を抽出します。そして、抽出した炭素成分を機械に入れ、長時間かけて高温・高圧処理をすることで結晶化し、合成ダイヤモンドが生成されます。遺骨ダイヤモンドは、ジルコニアのような人工ダイヤモンドでないため、化学組成や硬度、輝きは、天然のダイヤモンドと同じです。

遺骨ダイヤモンドには、無色透明なものから、化学物質により青みがあったり、空気中の窒素により黄色になるものがあります。また、青くしたり、赤や緑などのカラーコーティングをしてくれる会社もあります。

遺骨ダイヤモンドを生成するために必要な遺骨の量は、企業によってさまざまですが、70～400グラム程度です。残っている遺骨が少ない場合などは、遺髪などから抽出した炭素成分を加えて生成することもできます。また、お墓に納骨していた場合など、火葬から時間が経った古いご遺骨から製作することもできます。

遺骨ダイヤモンドの製作には、約6ヵ月ほどかかります。製作期間については、ダイヤモンドの大きさ、遺骨の性質、受注状況などによって異なります。遺骨ダイヤモンドの価格は、生成するダイヤモンドの大きさ、カット方法、個数などによって異なりますが、0.2カラットで45万円程度、1カラットのものは200万円ほどかかります。また、ジュエリー加工する場合には、7万～20万円程度の加工費用が加算されます。

■ 遺骨ダイヤモンド以外の人工宝石

麗石（れいせき）とは、メモリアルストーンとも呼ばれるもので、遺骨と一緒に石英などの石の原料を高温で溶かして、結晶化させる人工宝石です。指輪やペンダントなどのアクセサリーのほか、念珠やオブジェ、お守り石などに加工できます。色は無着色のものだけでなく、十数色の中から好みの色を選べます。製作に必要な遺骨の量は、アクセサリーなどの場合は約2g、オブジェで約10～20gです。価格は、10万～15万円ほどで、約1ヵ月でできあがります。

遺骨真珠は、遺骨を原料にしたセラミック核を使用し、養殖真珠と同じ工程で生成されます。核入れが初夏（5～7月頃）、浜揚げが12月に行われ、翌年1月頃に依頼者へ納品されます。核を作るために必要な遺骨の量は、約15～30グラムです。価格は約30万円で、90個のアコヤ貝に核入れが行われますが、形の整った綺麗な真珠になる確率は1～2割程度です。

ご遺骨から作る美しい人工宝石！

